

互交流や意見交換を図るといった横のつながりを活かした活動も行っています。



平成26年度合同活動報告会



4大学合同図上演習

(3) 活動紹介

平成26年度は京都華頂大学・短期大学、佛教大学、京都橘大学、同志社大学の4大学でサークルが発足し、それぞれに活動を開始しており、平成27年度については、京都学園大学、京都文教大学、京都産業大学の3大学が実施に向け、準備を進めています。

大学ごとに、それぞれの特色やニーズに応じた活動が展開されており、活動内容は多岐に渡っています。共通の活動としては、地域の消防団員との防火パトロールの実施、消防団活動の見学や地域の防災訓練の参加等があります。また、府立消防学校や京都市市民防災センター等の見学といった施設を活用した体験学習を行っている大学もあります。



消防団との防火パトロール

これらのフィールドワークに加え、救命講習やボランティアセンターの防災講座を受講する等して主体的に自身のスキルアップに励んでいます。また、大学祭での防災ブースの出展や防火啓発ビラの配布といった大学構内での防火・防災啓発活動も積極的に行っています。

最近の取組としては、学生の企画による子ども向けの防災啓発イベントの実施や大学での空き時間を利用したAED講習会の実施といった活動も行っており、活動の量・幅が広がってきています。



消防団活動の見学

3 今後の展望

事業を開始しておよそ1年が経ちましたが、学生自身がサークル活動を通して、消防団活動を目で見て、肌で感じる中で、消防団に対する考え方やイメージが変わり、消防団へ入団する学生が少しずつ増えてきています。もちろん即効性のあるものではないかもしれませんが、大学生への意識付けを着実にを行い、興味関心を涵養させることで、長期的には一定の効果が出てくると期待しています。

大学生と消防団を繋ぎ、学生の防災意識を高める場である「京都学生FAST」を、今後も拡充させていき、大学のまち京都の強みを活かした取組として、消防団員確保の一助となるよう推進していきたいと存じます。



平成26年度京都学生FAST集合写真